



美容医療
(リハビリメイク)

有限会社かづきれいこ

所在地／新宿区左門町20番地 四谷メディカルビル5F
TEL.03-3350-0071 https://www.kazki.co.jp/
創立／1989(平成元)年4月 従業員数／71名(2023年4月現在)



職場見学可能です

かづきれいこが考えた 「かづきメイク」とはどんなもの？



おしゃれのためだけに行うものではなく、「心も体も元気になるメイク」です。



サロン



かづきれいこって、
どんな人？



自身の体験からメイクの重要性を感じ、
さまざまなメイクを生み出した人です。

1 メイクの大切さに気づき、自分自身で研究

冬になり寒くなると顔が真っ赤になることを悩み、若いときからメイクでカバーしてきました。その原因が生まれつきの病気であるとわかり、同じような悩みを持つ方の力になりたいと思い、独自のメイク法をあみ出しました。



**あざやシミ、キズややけどのあとを
カバーする「リハビリメイク」**

あざなど、見た目に悩みがあると周囲の目が気になり人と会うのが嫌になったり、消極的になります。リハビリメイクは心が元気になり、積極的になるなどの効果があります。従来のメイクは「0からプラス」へ、美しくなるためですが、リハビリメイクは「マイナスから0」へ、外見の悩みを解消できるメイク法です。

2 「かづきメイク」を生み出す

メイクを学ぶなかで、年や性別に関係なく誰でもすぐに元気になれる顔を作るメイク法「かづきメイク」を考案しました。テレビや本での情報発信や、講演会を行うなど、「かづきメイク」を広める活動を始めました。



3 「リハビリメイク」の第一人者に

医療機関とともに、キズややけどのあとなどのカバーや、それにともなう心のケアを行う「リハビリメイク」を生み出し、現在大学病院などで外来も行っています。有限会社かづきれいこという会社を作り、後進の育成にも力を注いでいます。



どんな仕事をしているの？

①講演活動

かづきメイクを学ぶるスクールや、講演活動、大学での講義などを行っています。



②学会での発表

リハビリメイクを研究した結果を医師が参加する学会で発表しています。



③メディア出演

かづきメイクを知つてもらうため、テレビや雑誌などに登場しています。



④イベント

多くの方にかづきメイクを体験してもらうため、イベント会場に出展しています。



⑤化粧品の販売

かづきメイクやリハビリメイクが誰でもできるように教材として化粧品も作っています。



メイクのボランティア も行っているの？

高齢者施設や震災被災地などでメイクのボランティアを行ってきました！

私たちは、さまざまな場所でメイクのボランティアを行っています。その一つが、高齢者施設でのメイクボランティアです。メイクすることで「若い頃の気持ちに戻ったようだ」と言ってくださるなど、いい笑顔になってくれます。また、2011年の東日本大震災のあと、宮城や福島の被災地にメイク用品をプレゼントするなどのボランティアも行いました。「きれいになって元気が出たわ」などの反響がありました。



▲高齢者施設での
ボランティア

▲被災地での
ボランティア

働く人の声を聞いてみよう！

Q&A

Q.どんな仕事をしているの？

メイクレッスンや大学での講義、イベントなどでかづきメイクを伝える、講師の仕事をしています。年や性別を問わず、もっと多くの方にかづきメイクの力を知っていたいことを目指しています。



主任講師
尾田 由紀子さん

Q.どんな仕事をしているの？

かづきメイクの技術を活用してお客様にメイクをし、化粧品の特徴や良さを知つてもらう仕事です。外見にお悩みのある人に一人でも多くかづきメイクの素晴らしさを知つてもらいたいと思います。



日本橋三越店 店長
馬場 千明さん

Q.どんな仕事をしているの？

化粧品やメイクに関するデザインの仕事です。お客様がデザインを見て、どう感じるかを大切にしてデザインしていまます。自分のデザインが、実際に商品になったときはとてもうれしいです。



デザイナー
井上 雅人さん